

セッション 1

(座長)

お茶の水女子大学

ライフワールド・ウォッチセンター (LWWC) 長

増田 優



(コメンテーター)

独立行政法人 国立環境研究所

化学物質環境リスク研究センター長

白石 寛明



(増田座長挨拶)

それでは、早速、第1セッションを始めさせていただきます。時間も限られているようでございますので、今から申し上げる段取りで進めさせていただければと思います。

全体1時間をいただいておりますので、先ほど司会の方から御紹介がございましたような順番で、4人の方々から13分ずつお話をいただき、残りの時間につきまして、コメンテーターの白石先生と私から少しコメントをさせていただきます。

先ほど安井先生から、このイニシアティブの枠組みの御説明がございました。シナリオオリエンテッドというキーワードが出ておりました。研究的な視点と同時に、体系的あるいは業務的に取り組んでいくという視点も重要だというようなお話もございました。

このイニシアティブの中から出てきた成果が、社会のいろいろなルール・規範の策定と運用、あるいは自主管理や具体的な対策につながっていくことを念頭に置きますと、新しい科学的な知見というものを見出していくと同時に、化学物質の評価や管理のための方法論をどうつくっていくか、知見の集積によって具体的な活動につなげる基盤をどうつくるか、さらに、知識の使い勝手を良くするための体系化というようなことも重要かと思えます。そんなことをちょっと頭の片隅に置きながら、それぞれプレゼンテーションしていただければと思います。

また、今後の展開の中でどういうところと連携が必要なのか、あるいは、既にやっているのか、そういうようなところについても教えていただければと思います。

